



2019年7月24日

各 位

会 社 名 株式会社タムロン
代表者名 代表取締役社長 鯨坂 司郎
(コード番号 7740 東証第一部)
問合せ先 上席執行役員経営企画室長 野中秀行
(TEL. 048 - 684 - 9111 (代))

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、2019年2月12日に公表した2019年12月期第2四半期累計期間の業績予想を下記のとおり修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 2019年12月期第2四半期累計期間連結業績予想の修正 (2019年1月1日～2019年6月30日)

	売 上 高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前 回 発 表 予 想 (A)	28,600	1,600	1,600	1,150	44.69
今 回 修 正 予 想 (B)	29,000	2,200	2,500	1,900	73.83
増 減 額 (B-A)	400	600	900	750	—
増 減 率 (%)	1.4	37.5	56.3	65.2	—
(ご参考) 前期第2四半期実績 (2018年12月期第2四半期)	28,572	1,959	2,090	1,585	61.26

2. 修正の理由

第2四半期累計期間の連結業績につきましては、レンズ交換式カメラ市場の縮小の影響等により自社ブランド交換レンズにおいて既存DSLR製品を中心に販売が下振れしたものの、ミラーレス用/監視やFA用/マシンビジョン用レンズの販売が好調に推移したことにより、売上高は、計画を若干上回る見込みです。

また、利益面につきましては、売上高が計画を上回ったことに加え、原価低減の推進及び自社ブランド交換レンズの新製品の販売が好調に推移したことによる売上総利益率の良化等により、計画を大幅に上回る見込みです。

通期連結業績予想につきましては、第3四半期以降の国内外の経済情勢に先行き不透明感があることや、円高の進行に伴い前提為替レートを見直したこと等により、2019年2月12日発表の通期業績予想を据え置くことといたします。

なお、第3四半期以降の前提為替レートは、1米ドル=108円(変更前は110円)、1ユーロ=122円(変更前は125円)としております。

※業績予想につきましては、現時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって、予想数値と異なる場合があります。

以上